

グローバル COE プログラム アジア域での流域総合水管理研究教育の展開

■博士コースと修士コースの一貫教育

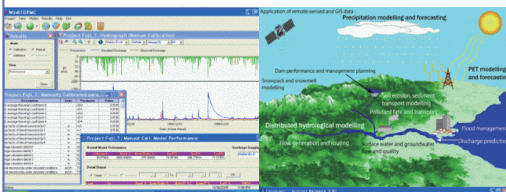
修士課程「国際流域環境科学特別教育プログラム」の新設→既存の博士課程「国際流域総合水管理特別コース」への連結



1. 流域水文分野
2. 環境動態分野
3. 環境管理分野
4. 地域計画分野
5. 流域健康リスク分野

■ヴァーチャルアカデミーの充実

インターネットを使って水文モデルなどの最新技術のパッケージを公開。第一線技術者を対象に、関連知識の習得、データ処理などの達成度を確認しながら指導



山梨大学 グローバルCOE

水に起因する災害と健康被害を解決できる人材育成

流域総合水管理実践力 国際水準の研究力 リーダーシップ能力

山梨大学グローバルCOEの展開

- 博士コースと修士コースの一貫教育
- 医学と工学の学際的研究の推進
- 先端的観測手法の開発
- 流域情報・資料解析ユニット
- ヴァーチャルアカデミー
- 研究データ及び成果の実践応用
- より広大なアジア地域への拡張
- 海外協同センター

山梨大学グローバルCOEの目的

1. アジア流域についての知識の習得、アジア流域に適合した技術と手法の開発
2. アジア流域の研究者や意思決定者に対してその技術や知識を伝えることができる人材育成システムの構築

山梨大学21世紀COEの達成

先端技術開発、博士課程特別コース、インターネット学習システム、人材ネットワークの構築

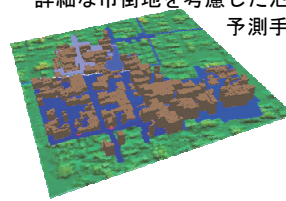
背景

- ・ 水問題の解決の必要性：持続可能な開発のための世界首脳会議、ユネスコにおける水に関連する科学の重視、WWAPの活動、世界水のフォーラム CEOPなど
- ・ 水にかかわる問題の激化：グローバル化の脆弱性拡大、地球温暖化の進展

気象用 X-バンド二重偏波
ドップラーレーダー



詳細な市街地を考慮した氾濫
予測手法



不合理な水管理の課題
(中央アジア)



■医学と工学の学際的研究の推進

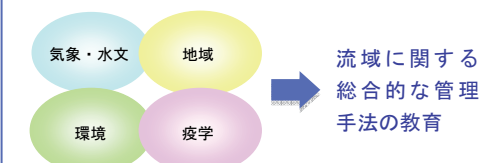
アジア域流域における環境要因と住民の健康の関係を医学・工学の両面から総合的に解明し、水管理政策・公衆衛生政策の科学的裏付けを提示できる人材の養成

水文学、水質学、公衆衛生学、
生化学等の融合

優先施策の評価方法確立

■流域情報・資料解析ユニット

有効情報の特定、現地実測データの収集、データアーカイブによる研究者間のデータ利用、流域に関する各分野の知見およびデータの統合



■海外協同センター

- ・ 特別講義など現地調整・運営
- ・ ヴァーチャルアカデミー現地指導
- ・ 博士課程学生のフィールド・リサーチ支援
- ・ 大学院入学希望学生への広報、支援
- ・ 留学生のリクルート支援
- ・ 生涯教育研究活動の支援
- ・ 国際的ソーシャル・キャピタルの設備